

【機械・ロボット科】 鋳造実習の様子

6月24日（火）、機械・ロボット科2年生の授業で鋳型づくりをしていました。鋳物砂の中に木型を埋めて、砂を固めたあとに木型を抜き、できた木型の空洞に1400度に溶けた鋳鉄を流して固め、製品を作ります。今回は自身の名前に関する木型を製作して使用しているそうです。鋳鉄を流して固めると鉄製の表札みたいなものができます。

以前は、彫刻刀で名前を彫って木型を製作していましたが、今は3DCADと3Dプリンタを用いて木型を製作しています。鋳造の世界もDX化が進んでいます。

※名前の部分の画像を加工してあります。



SNSにも掲載します



@GOTSU_TECHNICAL